



2022年6月13日

各 位

会社名 株式会社学情
代表者名 代表取締役社長 中井 大志
(コード番号 2301 東証プライム市場)
問合せ先 管理部ゼネラルマネージャー野嶋 稔彦
(TEL. 03-3593-1500)

第2四半期累計期間業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2021年12月13日に公表いたしました、2022年10月期(2021年11月1日～2022年10月31日)の第2四半期累計期間の業績予想と本日発表の第2四半期決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、2022年10月期通期業績予想に変更はありません。

記

1. 2022年10月期第2四半期累計期間業績予想値と第2四半期決算値の差異

(2021年11月1日～2022年4月30日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,340	3	113	53	3円74銭
今回実績 (B)	2,161	△128	64	18	1円32銭
増減額(B-A)	△178	△131	△48	△34	—
増減率 (%)	△7.6	—	△43.1	△64.9	—
(ご参考)前期実績 (2021年10月期第2四半期)	2,207	138	267	179	12円62銭

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間(2021年11月1日～2022年4月30日)においては、期間の終盤ようやく新型コロナウイルス感染症流行による行動制限にも出口が見えはじめ、経済活動再開に向けた動きが本格化し始めるという状況となりました。また、ロシアによるウクライナ侵攻も重なり、世界的なエネルギー不安、原材料の高騰や、アメリカの金利政策、中国のコロナ政策など、複合的に景気の見通しに影響を与えました。

その結果、若手求職者への採用ニーズは高まっているものの、今後の景気動向を見極めながら採用活動を行うといった企業が期間中に散見されたことや、「通年採用」の流れが加速したことによって企業の採用活動時期が分散したことから、業績予想と実績に差異が発生しております。

一方、円安による企業業績の引き上げや物価上昇などの要因によって、大手企業を中心に賃金引き上げの動きも見られ、人材の流動化、働き方の多様化がいつそう定着しつつあります。

このことは各企業の「通年採用」や「職種別採用」といった雇用環境の変化を促しており、当社のWebツールや動画を活用した採用活動のDXを推進する幅広い提案とマッチしていることから、足元の引き合いは前年同時期と比べて増加傾向であるため、2022年10月期通期業績予想の変更はありません。

以上